

## ■ 掲示板

### ■ 第19回（2019年度）「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞」の募集

山崎貞一賞：「一般財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞（以下、山崎貞一賞）」は、科学技術水準の向上とその普及啓発に寄与することを目的とし、また、当財団の初代理事長を務めた故山崎貞一氏の科学技術および産業の発展に対する功績、人材の育成に対しての貢献を記念して創設された賞であります。

#### 募集対象分野（2019年度）：

1. 「計測評価分野」
2. 「バイオサイエンス・バイオテクノロジー分野」

#### 内容：

- (1) 受賞者は国籍を問わず、日本国内に於いて優れた創造的業績をあげている人とします。
- (2) 誠実な人間性のある人物を授賞対象とします。
- (3) 受賞者全員に賞状および各分野に対し賞金300万円を贈呈します。
- (4) 贈呈式典は11月に執り行います。

(5) 過去に応募し選に漏れた人でも、再応募可能です。その際、新たなる発展、新たなる資料をお持ちの場合は、それらも提示して応募書を作成し応募して下さい。

(6) 複数人（総計3名以内）で応募される場合は、各人につき応募書類に詳細な寄与実績を記載して下さい。

(7) 応募書類を作成するに当たっては、記入要領に従って下さい。

応募方法：必要書類一式を Web システムよりご提出下さい。

応募書類一式は、募集期間中に山崎貞一賞ホームページよりダウンロードいただけます。

山崎貞一賞ホームページ：

<https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>

募集期間：2019年3月15日（金）～4月30日（火）

#### 問合せ先：

一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200（直通） FAX：03-3415-5987

E-mail：prize@mst.or.jp

## ■会告

### ■第23回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2018年9月22日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として3名が推薦された。

その結果を受け、第120回評議員会にて第23回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第32回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・井上伊知郎（理化学研究所放射光科学研究センター）

「XFEL光源の新奇特性の開拓とその利用」

井上氏は、XFEL光源の新奇特性の開拓、およびその光源を用いた先駆的な実験手法の開拓において顕著な業績を挙げた。特に、最先端のX線光学技術と幅広い加速器技術・X線科学を有機的に結合させながら、革新的なXFEL光源や実験法の開発を強力に推進した。

具体的な業績として、井上氏は、SACLAの波長の異なるダブルパルスXFEL発振技術を利用した、X線ポンプX線プローブ法の開発を行なった。磁場シケインによって時間間隔を変えたダブルパルスを用いて、世界最高レベルの強度（約 $10^{19}$  W/cm<sup>2</sup>）のX線と物質との相互作用の様子を、フェムト秒の時間分解能で観測することに成功した。また、プリズム光学素子を利用した高調波XFELの抽出とその利用、破壊型干渉計測に基づく高強度XFELの空間コヒーレンス特性のマッピング、X線強度干渉現象を利用したフェムト秒電子バンチの時間構造決定など、様々なアプローチによって、XFEL光源の利用技術・評価技術の開拓を行なった。さらに最近では、SACLAにおいて「反射型セルフシード」という新しい光学技術の開発と実用化を牽引した。この結果、XFELのパルスエネルギーをほとんど保ったまま、XFELのスペクトルを約1桁狭帯化することに成功し、実用的なシーディング技術として、利用運転にも用いられるようになった。

以上により、井上伊知郎氏の業績は本学会奨励賞に相応しいものと認められた。

- ・黒田健太（東京大学物性研究所）

「真空紫外および軟X線領域の放射光角度分解光電子分光を用いた新しいトポロジカル物質相の研究」

黒田氏は、国内外の放射光施設を利用し、主に角度分解光電子分光（ARPES）の手法を用いてトポロジカル物質の電子状態の研究を行っている。それぞれの放射光施設の特徴を利用した真空紫外から軟X線領域までの広い波長領域を使い分けることで、表面敏感・バルク敏感ARPESによるトポロジカル物質相の新しい特定方法を開拓しており、大きな成果を上げている。特に、セリウムモノプニクタイト CeX（X=P, As, Sb, Bi）の系統的な電子構造の詳細を、軟X線を用いたバルク敏感ARPESにより明らかにし、そのバンド分散から通常の物質相からトポロジカル物質相への相転移を直接観測することに成功している。これまで、表面敏感ARPESを用いて特異な表面状態を観測することで、間接的に物質内部のトポロジーを決定する手法が一般的に用いられてきた中で、バルクの電子状態を観測することにより直接的にトポロジーを特定する画期的な手法を世界で初めて示した。また、

カゴメ格子を持つ反強磁性体 Mn<sub>3</sub>Sn の測定では、表面敏感・バルク敏感 ARPES の両方を用いて、磁性とワイル粒子が融合した新しいトポロジカル物質相を世界で初めて発見することにも成功している。

このような同氏の業績は、放射光によるトポロジカル物質科学研究の新しい基点として価値あるものであり、本学会奨励賞に相応しいものと認められた。

- ・山下恵太郎（東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻）

「高難度タンパク質微小結晶試料から迅速に構造決定を行うシステムの開発」

山下氏は、SPRING-8の高輝度放射光を活用して高難度タンパク質（結晶化の難度が高いタンパク質）の大量の微小結晶から迅速・高精度に構造決定を行なう全自動システムを開発し、構造生命科学分野の発展に対して非常にインパクトの高い業績をあげている。タンパク質のX線結晶構造解析において、膜タンパク質などの高難度試料では大きな結晶を作成するのは難しく、10ミクロンに満たない数十~数百個の微小結晶から集めた大量のデータを併合して解析を行なうことになるが、測定から解析までをこれまで同様で手動で行なうことは効率面・精度面から問題があった。山下氏は第1に、マウントされた視認するのは困難な多数の微小結晶の位置を正確に同定するソフトウェア SHIKA を開発した。第2に、収集した大量のデータを高精度かつ全自動で解析するためのストラテジーを独自に提唱し、既存のプログラムパッケージを適切な順序とパラメータで組み合わせて実行することで氏の提唱するストラテジーを実現するソフトウェア KAMO を開発した。この結果、既存のシステムと組み合わせて、大量の微小結晶を用いた迅速・高精度な全自動測定解析システムを完成させた。さらに山下氏は同システムを利用して、創薬ターゲットとなる膜タンパク質を始めとする重要な分子の構造解析を多数成功させると共に、その経験に基づき SACLA/SPRING-8 におけるシリアル結晶学の技術開発にも応用し、多数の成果を発表して国際的にも高く評価されている。

以上により、山下恵太郎氏の業績は本学会奨励賞に相応しいものと認められた。

### ■第2回放射光科学賞選考結果報告

2018年9月22日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第120回評議員会にて第2回放射光科学賞の授与が承認され、第32回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・雨宮慶幸（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

「X線計測技術と放射光X線産業利用による放射光科学への貢献」

雨宮慶幸氏は、2次元X線検出器の開発とそれを利用した小角X線散乱法への展開に関して日本を代表する研究者である。

X線検出器の開発は、放射光利用において光源性能を遺憾なく発揮するために重要な課題である。雨宮氏は、2次元X線検出器であるIP（イメージングプレート）を用いたX線回折・散乱計

測システムの開発に成功した。X線検出器は、それまではゼロ次元、一次元検出器が主流で、二次元検出器は写真乾板であったが、IPは、定量性、ダイナミックレンジ、位置分解のすべてにおいてこれまでの検出器の性能を凌駕しており、第二世代光源および第三世代光源の前半までは、X線回折・散乱実験において世界中の放射光施設で活躍した。特に世界中でタンパク質構造解析が加速度的に実行されたのはIPが利用されるようになったからである。更に、IPの不得意であった実時間測定に適する検出器の開発にも成功している。企業と共同開発したイメージンテンシブファイア付きCCD型X線検出器で、主に日本の放射光施設でのX線小角散乱の実時間測定においてしばらく標準的な検出器となった。

雨宮氏の貢献として、X線検出器の開発だけに留まらず、放射光の位相と偏光特性の制御によるX線光学の基礎と応用に関する数々の成果の他、企業との共同研究を積極的に推進し、具体的な製品開発に繋がる成果を上げている点も高く評価される。具体例として、毛髪のうねりの原因を、マイクロビームを利用した小角X線散乱法によって分子、細胞レベルで定量的に明らかにし、シャンプーなどの新製品開発に導いた成果、時分割二次元極小角X線散乱法により、ナノメートルからマイクロメートルにおけるゴム中のナノ粒子階層構造を解析し、低燃費タイヤの新製品開発に導いた成果などがあげられる。

以上のように雨宮慶幸氏は我が国の放射光科学の発展に著しい貢献をしており、本学会放射光科学賞に相応しい研究者と認められた。

## ■第6回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2018年10月27日開催の第120回評議員会にて、小杉会長より、第6回功労報賞は応募がなく、該当者なしとする旨の報告があり、これを承認した。

## ■日本放射光学会第120回評議員会議事録

日時：2018年10月27日（土） 14：00～16：00

場所：東北大学東京分室 会議室B

出席者：足立伸一、雨宮健太、雨宮慶幸、五十嵐教之、内海渉（庶務幹事）、籠島靖（編集幹事）、河田洋、岸本俊二、木下豊彦、木村真一、木村洋昭、小杉信博（会長）、近藤寛、田中義人、中川敦史、野村昌治、初井宇記、百生敦、矢橋牧名（渉外幹事）、横山利彦、若林裕助、稲田康宏（会計幹事）、組頭広志（行事幹事）

欠席者：有馬孝尚、石川哲也、太田俊明、尾嶋正治、木村昭夫、辛埴、中尾裕則、水木純一郎、村上洋一

事務局：佐藤亜己奈

0-1. 会長挨拶を行った。

0-2. 評議員の互選により、足立伸一評議員を本会議の議長に選出した。

### 〈審議事項〉

#### 1. 2019年度会長活動方針

小杉会長より、「国内施設のそれぞれの動向の把握（光ビームプラットフォームからの情報提供等）」、「国内施設の責任

者が集まって議論する場を設定」、「日本学術会議マスタープラン（特に学術予算関係）への対応」、「次世代放射光施設（軟X線向け高輝度3 GeV級放射光源）の整備運用計画への全面的な支援・協力」といった活動方針案について説明があり、これを承認した。

#### 2. 日本化学連合・化学系学協会連絡会について

日本化学連合から化学系学協会連絡会発足と参加申込の案内が届いた旨、小杉会長より説明があった。審議の結果、本学会は参加しないこととした。

#### 3. 2018-2019年度幹事

小杉会長より、2019年度幹事について、2018年度に引き続き下記の通り選出した旨説明があり、これを承認した。

庶務幹事：内海渉、行事幹事：組頭広志、編集幹事：籠島靖、

渉外幹事：矢橋牧名、会計幹事：稲田康宏

#### 4. 2019年度学会組織および事業計画

内海庶務幹事より2019年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会委員）および事業計画について説明があり、これを承認した。

#### 5. 2019年度行事幹事活動方針

組頭行事幹事より年会・合同シンポジウムの開催、若手研究会の開催（若手部会との連携強化）、基礎講習会の開催（放射光施設のある場所でのローテーション開催）など、2019年度行事活動方針について説明があり、これを承認した。

#### 6. 2019年度編集幹事活動方針

籠島編集幹事より、学会誌「放射光」の発行、試料環境シリーズの連載、単行本「改訂版・放射光ビームライン光学技術入門」の電子書籍出版など、編集活動方針について説明があり、これを承認した。

#### 7. 2019年度渉外活動方針

矢橋渉外幹事より、他学会に対する情報発信、AOFSSRとの協調、IUCrのCommission on Synchrotron and XFEL Radiationとの協調、学会ホームページのアップデート、SRN等への情報発信、緊急時における他学会への働きかけ、声明文などの準備、発信、男女共同参画との連携、特別賛助会員、賛助会員への対応など、2019年度渉外幹事活動方針について説明があり、これを承認した。

#### 8. 2018年度暫定決算

稲田会計幹事より、2017年度会計監査において税理士から、会費未収入金を収入に計上すべきとの指摘があった旨の説明があり、会費未収入金を収入に含めた2018年度暫定決算および資産負債明細が示され、これを承認した。税理士による会計監査を済ませた最終版の決算書を次回評議員会で報告をすることとした。

#### 9. 2019年度暫定予算

稲田会計幹事より、単行本出版費、発表支援奨学金、PayPal処理手数料の計上、特約ゆうメール制度廃止による会誌発送費の増加など、2019年度暫定予算について説明があり、これを承認した。

#### 10. 学会誌バックナンバーの処分について

稲田会計幹事より、学会誌バックナンバーの保管状況と処

分費用について説明があった。過去1年分は全て保管、過去3年分は30部/号ずつ保管、それ以前の方は1部/号ずつ保管し、その他は廃棄処分することを承認した。

11. 日本放射光学会功労報賞内規の改定について  
小杉会長より、日本放射光学会功労報賞内規の改定（下線部改定箇所）について提案があり、以下の内容で承認した。

日本放射光学会 功労報賞内規 2018年10月27日評議員会改定
1. 日本放射光学会が規定する学術賞等の一つとして、日本放射光学会功労報賞を設ける。 2. この報賞は、 <u>個人</u> の放射光利用技術・支援の永年に渡る功に報いて授与するものである。 3. 受賞対象者は必ずしも学会員である必要はない。 4. 選考は以下の手続きによる。 ・応募方法は学会員10名以上の賛同者をもって代表する学会員からの他薦とし、応募方法の詳細、応募書類は、募集要項に従う。 ・選考は学術賞等選考委員会が行なう。 ・学術賞等選考委員会で候補者を決定し、委員長が評議員会に諮り、評議員会の承認をもって決定する。但し、該当者がいない場合は授与しない。 ・選考結果は、総会で報告する。 5. 表彰は、日本放射光学会年会において行う。

12. 放射光科学賞内規の改定について  
小杉会長より、放射光科学賞内規の改定（下線部改定箇所）について提案があり、以下の内容で承認した。

日本放射光学会 放射光科学賞内規 2018年10月27日評議員会改定
1. 日本放射光学会が規定する学術賞等の一つとして、放射光科学賞を設ける。 2. 本賞は、放射光科学の進展に大きく貢献した研究者、 <u>または研究グループ</u> の功績を讃えるために授与するものである。 3. 受賞対象者は、我が国の放射光科学の発展、放射光科学による我が国の科学技術の革新などに著しい貢献をした研究者、 <u>または研究グループ</u> であり、学会員である必要はない。 4. 選考は以下の手続きによる。 ・応募方法は他薦とし、応募方法の詳細、応募書類は、募集要項に従う。 ・選考は学術賞等選考委員会が行なう。 ・学術賞等選考委員会で毎年1名、または、1グループの候補者を決定し、委員長が評議員会に諮り、評議員会の承認をもって決定する。但し、 <u>該当候補</u> がない場合は授与しない。 ・選考結果は、総会で報告する。 5. 表彰は、日本放射光学会年会において行う。

13. 第23回学会奨励賞選考結果  
小杉会長より、学術賞等選考委員会において、今後の放射光科学での広い分野への寄与の可能性に重点を置く方針の下選考を行った結果、下記の3名を第23回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の説明があり、これを承認した。

井上伊知郎 会員(理化学研究所放射光科学研究センター)  
「XFEL光源の新奇特性の開拓とその利用」

黒田健太 会員(東京大学物性研究所)

「真空紫外および軟X線領域の放射光角度分解光電子分光を用いた新しいトポロジカル物質相の研究」

山下恵太郎 会員(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

「高難度タンパク質微小結晶試料から迅速に構造決定を行うシステムの開発」

14. 第6回功労報賞  
小杉会長より、功労報賞は第2回以降候補者推薦が無く、今回も推薦が無かったとの報告があり、評議員の方々からの推薦を是非お願いしたいとのコメントがあった。

15. 第2回放射光科学賞選考結果  
小杉会長より、学術賞等選考委員会において、第3回以降のことも考え、国内ばかりでなく国際的な観点での科学技術への貢献も考慮して慎重に選考を行った結果、下記の1名を第2回放射光科学賞の受賞者として推薦する旨の説明があり、これを承認した。

雨宮慶幸氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

「X線計測技術と放射光X線産業利用による放射光科学への貢献」

16. 会員異動  
内海庶務幹事より、第119回評議員会以降の入会申請者に関して、入会：正会員69名(内学生52名)、シニア会員5名、賛助会員2社2口の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員35名(内学生6名)、賛助会員1社1口を確認した。2018年10月27日現在の総会員数は1,300名(内学生130名)、名誉会員5名、シニア会員62名、賛助会員47社(49口)、特別賛助会員12団体(19口)。

また、会費3年間未納のための自動退会者41名および会費2年滞納者57名のリストを確認した。

自動退会者については継続をお願いできそうな会員に一度評議員から働きかけて、次回もう一度審議することとした。

17. 協賛・後援・共催  
矢橋渉外幹事より、本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり、協賛12件、後援2件を承認した。

#### 〈報告事項〉

1. 2018年度事業報告  
内海庶務幹事より、2018年度事業について報告があった。
2. 第10回基礎講習会報告  
組頭行事幹事より、2018年9月13日(木)～14日(金)に東北大学片平キャンパスで開催された第10回放射光基礎講習会「初心者のための放射光入門 基礎から応用まで」の参加者数、収支などについて報告があった。尚、今回は名古屋での開催を検討したいとの説明があった。
3. 第10回若手研究会報告  
組頭行事幹事より、2018年9月3日(月)～4日(火)に東京大学本郷キャンパスで開催された第10回若手研究会「放射光科学×インフォマティクス」の参加者情報、収支などについて報告があった。
- また、第10回までの若手研究会応募状況が示され、今後も積極的に応募してもらえるよう周りの若手の方に働きかけて欲

しいとの説明があった。

4. JSR2019・JSR2020 準備状況  
組頭行事幹事より、JSR2019の準備状況、今後のスケジュール、予算案について報告があった。  
また、2020年1月10日(金)~12日(日)にウィンクあいちで開催予定のJSR2020準備状況について報告があった。
5. 会誌編集状況  
籠島編集幹事より、依頼記事の進捗状況、日本中性子学会と連携を取りながら進めている特集号「量子ビームの協奏的利用による先端研究」の進捗状況について報告があった。特集号について、オンライン会誌は両学会員がお互いの当該号を閲覧できるようにするとの説明があった。
6. 単行本「放射光ビームライン光学技術入門」電子書籍版の出版  
籠島編集幹事より、「放射光ビームライン光学技術入門」電子書籍出版の進捗状況、費用の見積について報告があった。
7. AOFSSR 報告  
矢橋渉外幹事より、2018年9月9日~9月15日に韓国で開催されたThe 2nd AOF SR Schoolについて報告があった。

#### 評議員会日程(予定)の確認

- 第121回評議員会 2019年1月9日(水) 場所:福岡国際会議場  
第122回評議員会 2019年4月13日(土) 場所:未定  
第123回評議員会 2019年7月13日(土) 場所:未定

### ■日本放射光学会第121回評議員会議事録

日時:2019年1月9日(水) 12:00~13:00

場所:福岡国際会議場 会議室1

出席者:足立伸一, 兩宮健太, 兩宮慶幸, 五十嵐教之, 石川哲也, 内海渉(庶務幹事), 尾嶋正治, 籠島靖(編集幹事), 河田洋, 岸本俊二, 木下豊彦, 木村昭夫, 木村真一, 小杉信博(会長), 辛埴, 田中義人, 中川敦史, 野村昌治, 初井字記, 村上洋一, 百生敦, 矢橋牧名(渉外幹事), 横山利彦, 若林裕助  
稲田康宏(会計幹事), 組頭広志(行事幹事)

欠席者:有馬孝尚, 太田俊明, 木村洋昭, 近藤寛, 中尾裕則, 水木純一郎

事務局:佐藤亜己奈

0-1. 小杉会長より挨拶があり、2019年度活動方針について説明があった。

#### 〈審議事項〉

1. 第32回総会議事  
内海庶務幹事より、第32回総会の議事案について説明があり、これを承認した。
2. 2018年度決算・2019年度予算案  
稲田会計幹事より、2018年度決算および2019年度予算案について説明があり、これを承認した。
3. 会員異動  
内海庶務幹事より、第120回評議員会以降の入会申請者に関して、入会:正会員6名(内学生0名), シニア会員3名,

賛助会員2社2口の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会:正会員6名(内学生6名)を確認した。2019年1月9日現在での総会員数は1,297名(内学生130名), 名誉会員5名, シニア会員65名, 賛助会員49社(51口), 特別賛助会員12団体(19口)。

また、会費3年間未納のための自動退会者41名および会費2年滞納者54名のリストを確認した。

4. 協賛・後援・共催  
矢橋渉外幹事より、本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり、協賛10件を承認した。
5. 大学院生の国際活動支援奨学金について  
内海庶務幹事より、2019年度日本放射光学会国際活動支援奨学金募集要項(案)について説明があった。審議の結果、応募資格の文章の一部を修正の上、承認することとなった。

#### 〈報告事項〉

1. JSR2019 状況・JSR2020 準備状況  
組頭行事幹事より、第32回年会・合同シンポ(JSR2019)が順調に開催されているとの報告があった。また、第33回年会・合同シンポ(JSR2020)は、2020年1月10日(金)~12日(日)にウィンクあいちで開催予定であるとの報告があった。
2. 第11回若手研究会  
組頭行事幹事より、第11回若手研究会の審査委員会委員長を村上洋一氏にお願いしたとの報告があった。
3. 会誌編集状況  
籠島編集幹事より、会誌編集状況について報告があった。また、学会誌「放射光」の巻頭言について、これまで年頭号は会長挨拶で他号は歴代会長、その後歴代評議員に執筆を依頼してきており、現在に至っているが、今後は下記のように変更するとの報告があった。
  - ・巻頭言は年度最初の号(1号)のみとする(学会設立当初に戻る)。
  - ・新会長就任時は直後の6号(11月末号)に新会長挨拶を掲載する(2015/10 幹事会決定)。
  - ・翌年最初の号(1号)は、然るべき方に巻頭言を執筆いただく。その時の学会を取り巻く状況等を鑑み、幹事会が執筆候補者を選定する。
  - ・翌々年最初の号(1号)は、会長が巻頭言(新年会長挨拶)を書く。
  - ・特集号では、特集号としての巻頭言を掲載する。
  - ・次巻(2019年;32巻)から運用を開始する。

4. 単行本「ビームライン光学技術入門」電子書籍版の出版  
籠島編集幹事より、「放射光ビームライン光学技術入門」電子書籍出版の進捗状況について報告があった。尚、電子書籍の販売価格は650円(税抜)とするとの説明があった。

5. AOFSSR 報告  
矢橋渉外幹事より、AOFSSR 2019 Council Members について報告があった。

#### 評議員会日程(予定)の確認

- 第122回評議員会 2019年4月13日(土) 場所:未定  
第123回評議員会 2019年7月13日(土) 場所:未定

## ■第32回（2019年）日本放射光学会総会議事録

日時：2019年1月9日（水） 14：00～15：00

場所：福岡国際会議場 A会場

出席者：出席者：180名 委任状：61名 計：241名

定款第28条により、正会員の1/10（130名）以上の参加で総会は成立。

### （議事）

1. 議長選出  
議長に足立伸一会員を選出した。
2. 2019年度会長挨拶  
小杉会長より挨拶があり、「日本全体のグランドデザイン」、「次世代放射光施設（軟X線向け高輝度3 GeV級放射光源）の整備運用計画への全面的な支援・協力」、「若手支援（国際活動支援奨学金など）」といった、2019年度の活動方針について所信表明があった。
3. 2019年度学会組織  
内海庶務幹事より、2019年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会）について報告があった。
4. 2018年度事業報告  
内海庶務幹事より、2018年度の学会活動について報告があった。
5. 2019年度事業計画  
内海庶務幹事より、2019年度の実業計画について報告があった。
6. 2019年度行事活動方針  
組頭行事幹事より、年会・合同シンポジウムの開催、若手研究会・基礎講習会の継続など、2019年度の行事活動方針について報告があった。
7. 2019年度編集活動方針  
籠島編集幹事より、学会誌「放射光」の発行、試料環境シリーズの連載、単行本「改訂版・放射光ビームライン光学技術入門」出版作業など、2019年度の編集活動方針について報告があった。
8. 2019年度渉外活動方針  
矢橋渉外幹事より、他学会に対する情報発信、AOFSSR との協調、IUCr の Commission on Synchrotron and XFEL Radiation との協調、学会 HP のアップデート・SRN 等への情報発信、緊急時における他学会へ働きかけ声明文などの準備・発信、男女共同参画との連携、特別賛助会員・賛助会員への対応、国内施設の責任者が集まって議論をする場の設定など、2019年度渉外活動方針について報告があった。
9. 第2回放射光科学賞  
小杉会長より、学術賞等選考委員会において、第3回以降のことも考え、国内ばかりでなく国際的な観点での科学技術への貢献も考慮して慎重に選考を行った結果、下記の1名を第2回放射光科学賞の受賞者として決定した旨の報告があった。  
雨宮慶幸氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科）  
「X線計測技術と放射光X線産業利用による放射光科学への貢献」
10. 第23回学会奨励賞  
小杉会長より、学術賞等選考委員会において、今後の放射光科学での広い分野への寄与の可能性に重点を置く方針の下選考を行った結果、下記の3名を第23回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。  
井上伊知郎 会員（理化学研究所放射光科学研究センター）  
「XFEL光源の新特性の開拓とその利用」  
黒田健太 会員（東京大学物性研究所）  
「真空紫外および軟X線領域の放射光角度分解光電子分光を用いた新しいトポロジカル物質相の研究」  
山下恵太郎 会員（東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻）  
「高難度タンパク質微小結晶試料から迅速に構造決定を行うシステムの開発」
11. 2018年度決算報告  
稲田会計幹事より、2017年度会計監査において税理士から、会費未収入金を収入に計上すべきとの指摘があった旨の説明があり、会費未収入金を収入に含めた2018年度決算書が示され、これを承認した。
12. 2019年度予算案  
稲田会計幹事より、2019年度予算案が示され、これを承認した。

## ■会員異動

### 第120回評議員会(2018年10月27日)で承認

#### 《正会員入会》

黒田 健太 東京大学物性研究所  
高濱謙太郎 名古屋大学シンクロトン光研究センター  
高松 大郊 ㈱日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ  
新野 正之 一般財団法人 航空宇宙技術振興財団  
笹尾 登 岡山大学 異分野基礎科学研究所  
藤村 章子 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
張 玉駿 東京大学物性研究所  
栗根 徹 合同会社シンクロトンアナリシス LLC  
松田 祐二 株式会社 MIST  
劉 暢 東京大学新領域創成科学研究科伊藤・横山研究室  
本武 陽一 東京大学, 新領域創成科学研究科, 岡田研究室  
ロク シンガ ップリゲ ロシヤンタ クマーラ  
高輝度光科学研究センター利用研究促進部門  
藤本 将輝 分子科学研究所  
高木 壮大 筑波大学生命環境科学研究科興野研究室  
高橋倫太郎 北九州市立大学大学院, 国際環境工学研究科, 櫻  
井研究室  
眞弓 皓一 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻  
小林 義彦 東京医科大学 医学部 一般教育 物理学教室

以上17名

#### 《学生会員入会》

三木 宏美 総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究  
科 物質構造科学専攻 兵藤研究室  
朝倉 健太 慶應義塾大学理工学部物理学科中迫研究室  
寺阪 歩 群馬大学理工学府電子情報・数理教育プログラム  
櫻井研究室  
川上 晃希 大阪府立大学 工学研究科 固体物性研究室  
黒澤 源太 関西学院大学 理工学研究科 物理学専攻 水木  
研究室  
庄内 星加 関西学院大学 理工学研究科 水木研究室  
亀沢 知夏 総合研究大学院大学  
大西 裕介 大阪大学蛋白質研究所 蛋白質結晶学研究室  
木村 謙吾 立命館大学大学院, 生命科学研究所, 無機触媒化  
学研究室  
中田 優樹 東北大学 大学院 理学研究科 物理学専攻 光  
電子固体物性研究室  
尾股 紘希 東京大学新領域創成科学研究科物質系専攻佐々木  
研究室  
加古川伊武紀 東京理科大学 理学研究科 化学専攻 中井研究室  
下笠 諒平 大阪府立大学 大学院工学研究科 電子・数物系  
専攻 電子物理工学分野 固体物性研究グループ  
芦田 万純 関西学院大学大学院理工学研究科物理学専攻水木  
研究室  
前川 祐希 関西学院大学大学院理工学研究科高橋研究室  
野口 亮 東京大学物性研究所近藤研究室  
瀬戸 洋介 大阪大学工学部応用自然科学科精密科学コース遠  
藤研究室

石原 正輝 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻  
佐々木研究室  
中川 広野 甲南大学大学院自然科学研究科電子物性研究室  
松永 幸大 名古屋大学院工学研究科高嶋・伊藤研究室  
中浦 良太 九州大学大学院 総合理工学府 永長・北條研究室  
森本 康介 北九州市立大学大学院, 国際環境工学研究科, 秋  
葉研究室  
永井 和樹 大阪大学 基礎工学研究科 物性物理工学領域 若  
林研究室  
川田 拓也 名古屋大学大学院, 工学研究科物質科学専攻, 曾  
田研究室  
伊澤 咲紀 北九州市立大学, 国際環境工学研究科, 秋葉研究室  
長尾 亮甫 北九州市立大学国際環境工学部秋葉研究室  
伊藤 樹人 京都大学大学院工学研究科 材料工学専攻 先端材  
料物性学研究室  
近都 康平 京都大学大学院工学研究科先端材料物性学研究室  
堀 健太郎 東北大学大学院理学研究科 物理学専攻 光電子固  
体物性研究室  
正田 寛太 兵庫県立大学大学院工学研究科物質計測化学研究  
グループ  
白井 康介 兵庫県立大学工学研究科物質計測化学研究グループ  
飛田 有輝 兵庫県立大学大学院, 工学研究科, 応用化学専  
攻, 物質計測化学研究グループ  
近藤 佑有 大阪大学, 基礎工学研究科, 関山研究室  
出野顕太郎 関西学院大学大学院, 理工学研究科, 水木研究室  
鳥湯 諒也 東海大学 工学部原子力工学科 伊藤研究室  
萩原 拓 大阪大学工学部応用自然科学科精密科学コース山  
内研究室  
大塚 裕貴 関西学院大学大学院 理工学研究科 熊坂研究室  
高宮 優介 九州大学大学院総合理工学府物質理工学専攻 永  
長・北條研究室  
長谷川真保 茨城大・理学部, 量研機構・量子ビーム  
宮田 祐暉 熊本大学大学院自然科学教育部  
山崎 大雅 熊本大学理学部理学科赤井研究室  
村田 康樹 熊本大学 大学院自然科学教育部 赤井研究室  
若松 昂平 名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻(化学  
系)唯研究室  
松本 大輝 大阪大学大学院, 理学研究科物理学専攻, 木村研  
究室  
伊藤 和之 北九州市立大学 国際環境工学研究科 環境シス  
テム専攻 環境化学プロセスコース 秋葉研究室  
高須賀幸恵 京都大学人間・環境学研究所吉田鉄平研究室  
河内 博基 北九州市立大学国際環境工学研究科  
篠原 大河 北九州市大 国際環境工 秋葉研究室  
鈴木 慧花 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻高  
橋嘉夫研究室  
鍋平 直輝 名古屋大学 工学研究科 高嶋・伊藤研究室  
坂野 卓也 兵庫県立大学 物質理学研究科 竹内研究室  
竹内裕加里 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻物性物理工  
学領域関山研究室

以上52名

## 《シニア会員入会》

谷口 雅樹 広島大学放射光科学研究センター  
 伊藤 正久 群馬大学 理工学研究院 理工学基盤部門  
 飯田 厚夫 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究  
 機構 (KEK) 放射光科学研究施設  
 三木 邦夫 京都大学 (大学院理学研究科化学専攻)  
 木下 博雄 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所

以上 5 名

## 《賛助会員入会》

工藤電機株式会社  
 株式会社島津製作所

以上 2 社 2 口

## 《退会会員》

正会員 29 名, 学生会員 6 名, 賛助会員 1 社 1 口

## 《会員数》

会員 1300 名 (内学生 130 名) 名誉会員 5 名 シニア会員 62 名  
 賛助会員 47 社 (49 口) 特別賛助会員 12 団体 (19 口)

## 第 121 回評議員会 (2019 年 1 月 9 日) で承認

## 《正会員入会》

平尾 法恵 青森県量子科学センター  
 平木 貴宏 岡山大学 異分野基礎科学研究所 量子宇宙研究  
 コア  
 瀬戸 康雄 理化学研究所 放射光科学研究センター 法科学  
 研究グループ

菅原 健人 量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究  
 部門 関西光科学研究所 放射光科学研究セン  
 ター 装置・運転管理室  
 加道 雅孝 量子科学技術研究開発機構  
 野口 直樹 徳島大学大学院社会産業理工学研究部応用化学  
 コース物質機能化学講座

以上 6 名

## 《シニア会員入会》

武田 信一  
 柳下 明 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究  
 所 放射光科学第一研究系  
 片岡 幹雄 総合科学研究機構 中性子科学センター

以上 3 名

## 《賛助会員入会》

スカンジノバ・システムズ株式会社  
 伯東株式会社

以上 2 社 2 口

## 《退会会員》

正会員 6 名

## 《会員数》

会員 1297 名 (内学生 130 名) 名誉会員 5 名 シニア会員 65 名  
 賛助会員 49 社 (51 口) 特別賛助会員 12 団体 (19 口)

日本放射光学会2018年度決算書  
自 2017年10月1日 至 2018年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	9,172,000	13,163,000	12,199,000
	学生会員会費収入	231,000		8,316,000
	賛助会員会費収入	2,450,000		173,000
	購読会員会費収入	360,000		2,400,000
	特別賛助会員会費収入	950,000		360,000
会誌収入	会誌広告収入	2,865,798	3,442,186	3,343,466
	会誌販売収入	220,177		2,826,918
	別刷収入	226,611		160,337
	会誌カラー印刷費	129,600		226,611
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	3,950,307	3,950,307	3,950,307
行事開催収入	基礎講習会	135,800	135,800	135,800
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	0	5,577	5,577
	販売収入 (ブルーボックス)	5,577		0
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	2,436,060	3,060
	前年度以前未収金	2,433,000		0
	その他	3,000		3,000
	受取利息	60		60
収入の部合計			23,132,930	19,637,210

備考欄は未収金を除いた金額

## 2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,493,982	4,419,552	4,419,552
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	52,459		3,493,982
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	772,111		52,459
	原稿料	101,000		772,111
単行本出版費	発送手数料（ビームライン光学技術）	0	0	0
	仕入れ（検出器ガイド）	0		0
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	133,486	133,486	133,486
行事開催費	基礎講習会開催費	250,757	636,649	636,649
	若手研究会開催費	385,892		250,757
事業費	会議費	2,159,820	3,560,852	3,560,852
	通信費	206,638		2,159,820
	印刷費	59,220		206,638
	事務局交通費	55,974		59,220
	公開市民講座開催費	0		55,974
	AOFSRR 協賛金	1,079,200		0
管理費	消耗品費	17,917	280,427	280,427
	給料手当（選挙開票アルバイト）	0		17,917
	運賃（宅急便+メール便）	18,163		0
	支払手数料	178,791		18,163
	web サーバー維持費	65,556		178,791
				65,556
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	871,560	6,832,771	6,832,771
	会計業務委託費	259,200		871,560
	庶務業務委託費	1,097,280		259,200
	ホームページ更新等	561,600		1,097,280
	イベント関連業務	172,800		561,600
	学会誌関連業務	3,172,176		172,800
	保管料（倉庫代）	129,600		3,172,176
	その他業務費	568,555		129,600
会計業務費	税理士顧問料	108,000	108,000	108,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	5,000	5,000	5,000
回収不能金			792,000	0
支出の部合計			16,768,737	15,976,737

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

## 3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			6,364,193	3,660,473
前期繰越金			21,577,399	21,577,399
次期繰越金			27,941,592	25,237,872

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

2018年度資産負債明細

2018年9月30日現在

1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 現金及び預金	手持現金残高	0	0
	東京貯金事務センター 振替貯金 0019-0-25525	26,895,281	26,895,281
	三菱東京 UFJ 銀行池袋支店 普通預金 5191785	11,298,582	11,298,582
2. 未収金	正会員会費未収残高	2,216,000	
	学生会員会費未収残高	99,000	
	賛助会員会費未収残高	50,000	
	購読会員会費未収残高	240,000	
	会誌販売, 他未収残高	98,720	
3. 立替金		0	0
4. 前払金		0	0
5. 貸付金	JSR2019準備金	3,000,000	3,000,000
流動資産の部合計		43,897,583	41,193,863

未収金を含まない金額

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費 744名	5,936,000
	学生会員会費 36名	69,000
	賛助会員会費 41社 (43口)	2,150,000
	特別賛助会員会費 11団体 (18口)	900,000
2. 未払金	ポラリス業務委託費, 若手研究会開催費	6,900,991
3. 預り金		0
負債の部合計		15,955,991

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 前期繰越金		21,577,399	21,577,399
2. 当期収支差額		6,364,193	3,660,473
剰余金の部合計		27,941,592	25,237,872

未収金を含まない金額

負債・剰余金の部合計		43,897,583	
------------	--	------------	--

日本放射光学会2019年度予算書  
自 2018年10月1日 至 2019年9月30日

## 1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	9,176,000	13,187,000	12,215,000
	学生会員会費収入	266,000		8,300,000
	賛助会員会費収入	2,450,000		170,000
	購読会員会費収入	345,000		2,450,000
	特別賛助会員会費収入	950,000		345,000
				950,000
会誌収入	会誌広告収入	2,800,000	3,400,000	3,400,000
	会誌販売収入	200,000		2,800,000
	別刷収入	300,000		200,000
	会誌カラー印刷費	100,000		300,000
				100,000
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	0	0	0
				0
行事開催収入	基礎講習会	140,000	140,000	140,000
				140,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	20,000	565,000	565,000
	販売収入 (ブルーボックス)	5,000		20,000
	広告収入	540,000		5,000
				540,000
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	1,000	1,000
	その他	0		0
	受取利息	1,000		1,000
収入の部合計			17,293,000	16,321,000

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,500,000	4,750,000	4,750,000
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	100,000		3,500,000
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	1,050,000		100,000
	原稿料	100,000		1,050,000
単行本出版費	出版費（ビームライン光学技術）	850,000	850,000	850,000
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	130,000	130,000	130,000
行事開催費	基礎講習会開催費	250,000	750,000	750,000
	若手研究会開催費	500,000		250,000
事業費	会議費	2,000,000	4,420,000	4,420,000
	通信費	200,000		2,000,000
	印刷費	60,000		200,000
	事務局交通費	60,000		60,000
	AOFSRR 協賛金	1,100,000		60,000
	国際活動支援奨学金	1,000,000		1,100,000
管理費	消耗品費	30,000	330,000	330,000
	運賃（宅急便+メール便）	20,000		30,000
	支払手数料	180,000		20,000
	web サーバー維持費	60,000		180,000
	学会誌等処分費	30,000		60,000
	PayPal 処理手数料	10,000		30,000
				10,000
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	900,000	6,920,000	6,920,000
	会計業務委託費	260,000		900,000
	庶務業務委託費	1,150,000		260,000
	ホームページ更新等	580,000		1,150,000
	イベント関連業務	180,000		580,000
	学会誌関連業務	3,150,000		180,000
	保管料（倉庫代）	130,000		3,150,000
	その他業務費	570,000		130,000
会計業務費	税理士顧問料	108,000	108,000	108,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	5,000	5,000	5,000
回収不能金			972,000	0
支出の部合計			19,235,000	18,263,000

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			-1,942,000	-1,942,000
前期繰越金			27,941,592	25,237,872
次期繰越金			25,999,592	23,295,872

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

## ■日本放射光学会2019年度組織

## ■会長（任期：2017.10.01-2019.09.30）

小杉 信博（KEK）

## ■幹事（任期：2017.10.01-2019.09.30）

庶務幹事 内海 渉（量研）

行事幹事 組頭 広志（東北大/KEK）

編集幹事 籠島 靖（兵庫県立大）

渉外幹事 矢橋 牧名（JASRI）

会計幹事 稲田 康宏（立命館大）

## ■評議員

（任期：2017.10.01-2019.09.30）

足立 伸一（KEK）

雨宮 健太（KEK）

有馬 孝尚（東大）

五十嵐教之（KEK）

籠島 靖（兵庫県立大）

河田 洋（KEK）

岸本 俊二（KEK）

木下 豊彦（JASRI）

木村 洋昭（JASRI）

近藤 寛（慶應義塾大）

中川 敦史（阪大）

野村 昌治（KEK）

百生 敦（東北大）

矢橋 牧名（JASRI）

横山 利彦（分子研）

（任期：2018.10.01-2020.09.30）

雨宮 慶幸（東大）

石川 哲也（理研）

内海 渉（量研）

太田 俊明（立命館大）

尾嶋 正治（東大）

木村 昭夫（広大）

木村 真一（阪大）

小杉 信博（KEK）

辛 埴（東大）

田中 義人（兵庫県立大）

中尾 裕則（KEK）

初井 宇記（理研）

水木純一郎（関学）

村上 洋一（KEK）

若林 裕助（阪大）

## ■行事委員

（任期：2017.10.01-2019.09.30）

組頭 広志（東北大/KEK）委員長

東 純平（佐賀大）

伊藤 孝寛（名大）

奥部 真樹（東北大）

片山 哲夫（JASRI）

小林 正起（東大）

佐賀山 基（KEK）

鈴木真粧子（群馬大）

相馬 清吾（東北大）

滝沢 優（立命館大）

長坂 将成（分子研）

真木祥千子（東北大）

山田 悠介（KEK）

## ■編集委員

（任期：2013.10.01-2019.09.30）

富樫 格（JASRI）

（任期：2014.10.01-2019.09.30）

中西 康次（立命館大）

（任期：2016.10.01-2019.09.30）

籠島 靖（兵庫県大）委員長

（任期：2017.1.24-2019.09.30）

大橋 治彦（JASRI）

平野 馨一（KEK）

（任期：2017.10.01-2019.09.30）

大和田成起（JASRI）

尾原 幸治（JASRI）

北原 周（コベルコ科研）

小林 英一（SAGA-LS）

坂倉 輝俊（東北大）

関口 博史（JASRI）

高嶋 圭史（名大）

初井 宇記（理研）

松村 浩由（立命館大）

森吉千佳子（広大）

米田 安宏（原子力機構）

和達 大樹（東大）

（任期：2018.4.18-2019.9.30）

本田 孝志（KEK）

（任期：2018.10.01-2020.09.30）

岩山 洋士（分子研）

大隅 寛幸（理研）

黒田 健太（東大物性研）

関山 明（大阪大）

高井 良太（KEK）

中島 伸夫（広島大）

藤井健太郎（量研）

星野 真人（JASRI）

松垣 直宏（KEK）

---

## ■2019年度の主な事業計画

- 第32回年会・放射光科学合同シンポジウム  
2019年1月9日～11日（於：福岡国際会議場）
- 第32回総会  
2019年1月9日（於：福岡国際会議場）
- 第2回放射光科学賞、第23回奨励賞授与  
2019年1月9日（於：福岡国際会議場）
- 若手研究会
- 基礎講習会  
2019年夏季開催予定
- 評議員会（10月，1月，4月，7月）
- 編集委員会（年3回）
- 行事委員会（年1回，年会時）
- 学会各賞授賞選考（奨励賞，功労報賞，放射光科学賞）
- 次期会長・評議員選挙
- 学会誌の定期発行（年6回）  
Vol. 31, No. 6/2018年11月末発行  
Vol. 32, No. 1/2019年1月末発行  
Vol. 32, No. 2/2019年3月末発行  
Vol. 32, No. 3/2019年5月末発行  
Vol. 32, No. 4/2019年7月末発行  
Vol. 32, No. 5/2019年9月末発行
- 第33回年会・放射光科学合同シンポジウム  
（2020年1月/ウイングあいち）準備

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2019年 5/20	第13回九州シンクロトロン光研究センター 研究成果報告会	九州シンクロトロン光 研究センター	公益財団法人佐賀県地域産業支援セン ター九州シンクロトロン光研究セン ター E-mail: info@saga-ls.jp	32・2
5/21-24	第55回真空技術基礎講習会	(地独)大阪産業技術研 究所 本部・和泉セン ター	日本表面真空学会, 日本真空工業会, 大阪府技術協会 E-mail: g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp	32・2
6/25-27	第67回表面科学基礎講座	東京理科大学 神楽坂 キャンパス 1号館17 階記念講堂	公益社団法人日本表面真空学会 E-mail: office@jvss.jp	32・2
6/27-28	第44回光学シンポジウム	東京大学 生産技術研 究所 An棟 コンベン ションホール	一般社団法人 日本光学会 E-mail: optsymp44-aud@myosj.or.jp	32・2
7/7-10	第19回 SPring-8 夏の学校—最先端の放射 光科学を学ぶ—	大型放射光施設 SPring-8 キャンパス	兵庫県立大学理学部/大学院物質理学研 究科・生命理学研究科関西学院大学理 工学部・大学院理工学研究科東京大学 放射光分野融合国際卓越拠点岡山大学 大学院自然科学研究科大阪大学 未来戦 略光科学連携センター・蛋白質研究 所・核物理研究センター高輝度光科学 研究センター理化学研究所 放射光科学 総合研究センター日本原子力研究開発 機構 物質科学研究センター量子科学技 術研究開発機構 放射光科学研究セン ター E-mail: 2019summerschool@spring8.or.jp	32・2
7/26	第47回 薄膜・表面物理セミナー (2019) 「半導体 GaN の基礎と応用—パワーデバイ ス開発のための合成・分析・構造設計技 術—」	東京理科大学 森戸記 念館 第一フォーラム	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: igarashi@jsap.or.jp	32・2
9/2-4	第22回 XAFS 討論会	京都大学 吉田キャン パス	日本 XAFS 研究会 E-mail: jxafs22@moleng.kyoto-u.ac.jp	32・2
10/20-25	12th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '19 (ALC'19)	みやこめっせ (京都市 勧業館)	日本学術振興会 マイクロビームアナリ シス第141委員会 E-mail: alc19@alc.jsps141.org	32・1
11/3-8	第14回非結晶物質の構造に関する国際会議	ニチイ学館 神戸ポー トアイランドセンター	NCM14組織委員会 E-mail: ncm14@kumamoto-u.ac.jp	32・2
11/3-8	第 8 回実用表面分析国際シンポジウム	北海道札幌市, ホテル エミシア札幌	一般社団法人 表面分析研究会 URL: http://www.sasj.jp/PSA/PSA19/	31・5

### ■第13回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会

主催：公益財団法人佐賀県地域産業支援センター 九州シンクロトロン光研究センター

協賛：日本放射光学会，他

日時：2019年5月20日（月）9：45-17：15

場所：九州シンクロトロン光研究センター（〒841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘8丁目7番地）

参加費：無料

問合せ先：

九州シンクロトロン光研究センター

TEL：0942-83-5017 FAX：0942-83-5196

E-mail：info@saga-ls.jp

詳細：http://www.saga-ls.jp/

### ■第55回真空技術基礎講習会

主催：日本表面真空学会，日本真空工業会，大阪府技術協会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2019年5月21日（火）～5月24日（金）

場所：大阪産業技術研究所 本部・和泉センター（大阪府和泉市あゆみ野2-7-1）

定員：60名

問合せ先：

（一社）大阪府技術協会 担当：三浦

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1

大阪産業技術研究所内

TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332

E-mail：g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp

詳細：https://www.jvss.jp/

### ■第67回表面科学基礎講座

主催：公益社団法人日本表面真空学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2019年6月25日（火）～6月27日（木）

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館17階記念講堂（東京都新宿区神楽坂1-3）

定員：100名（定員に達し次第メ切りります）

問合せ先：

公益社団法人 日本表面真空学会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル5階

TEL：03-3812-0266 FAX：03-3812-2897

E-mail：office@jvss.jp

詳細：http://www.jvss.jp/

### ■第44回光学シンポジウム

主催：一般社団法人日本光学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2019年6月27日（木）～6月28日（金）

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟 コンベンションホール（東京都目黒区駒場4-6-1）

問合せ先：

株式会社ニコン 光学本部 第二設計部 第三光学課 鈴木 順

E-mail：optsymp44-aud@myosj.or.jp

詳細：http://myosj.or.jp/event2/opt\_symp/

### ■第19回 SPring-8 夏の学校 ―最先端の放射光科学を学ぶ―

主催：兵庫県立大学理学部/大学院物質理学研究科・生命理学研究科，関西学院大学理工学部・大学院理工学研究科，東京大学 放射光分野融合国際卓越拠点，岡山大学大学院自然科学研究科，大阪大学 未来戦略光科学連携センター・蛋白質研究所・核物理研究センター，高輝度光科学研究センター，理化学研究所 放射光科学総合研究センター，日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター，量子科学技術研究開発機構 放射光科学研究センター

日時：2019年7月7日（日）～7月10日（水）

場所：大型放射光施設 SPring-8 キャンパス（兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1）

参加費：無料（但し宿泊費・交通費等は自己負担）

定員：80名程度

問合せ先：

SPring-8 夏の学校事務局

（公財）高輝度光科学研究センター（JASRI）

利用推進部 普及情報課

TEL：0791-58-2785 FAX：0791-58-2786

E-mail：2019summerschool@spring8.or.jp

詳細：http://www.spring8.or.jp/ja/ ⇒「学会会合」⇒「第19回夏の学校」

### ■第47回 薄膜・表面物理セミナー（2019）

「半導体 GaN の基礎と応用―パワーデバイス開発のための合成・分析・構造設計技術―」

主催：応用物理学会 薄膜・表面物理分科会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2019年7月26日（金）10：00-17：30

場所：東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム（新宿区神楽坂4-2-2 TEL：03-5225-1033）

定員：100名（満員になり次第締め切ります。）

問合せ先：

応用物理学会事務局分科会担当 五十嵐 周

TEL：03-3828-7723 FAX：03-3823-1810

E-mail：igarashi@jsap.or.jp

詳細：https://annex.jsap.or.jp/tfspd/

## ■第22回 XAFS 討論会

jxafs22/

主 催：日本 XAFS 研究会

協 賛：日本放射光学会，他

日 時：2019年9月2日（月）～9月4日（水）

場 所：京都大学 吉田キャンパス（〒606-8501 京都府京都市  
左京区吉田本町）

問合せ先：

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大学大学院人間・環境学研究科 吉田寿雄・山本旭

TEL：075-753-6882

E-mail：jxafs22@moleng.kyoto-u.ac.jp

詳 細：http://www.moleng.kyoto-u.ac.jp/~moleng\_04/event/

## ■第14回非結晶物質の構造に関する国際会議

主 催：NCM14 組織委員会

協 賛：日本放射光学会，他

日 時：2019年11月3日（日）～11月8日（金）

場 所：ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター（〒650-  
0047 神戸市中央区港島南町 7-1-5）

問合せ先：E-mail：ncm14@kumamoto-u.ac.jp

詳 細：http://crocus.sci.kumamoto-u.ac.jp/physics/NCM14/

## ■新刊紹介

## ■X線 CT 産業・理工学でのトモグラフィー実践活用

著者：戸田裕之

出版社：共立出版

ISBN 番号：978-4-320-08222-9

定価：本体6,400円＋税

### ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 籠島 靖  
渉外幹事 矢橋牧名

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr322

Password: 2nahmKs5

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、[学会誌「放射光」のオンライン閲覧](#)をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、矢橋 (yabashi@spring8.or.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、籠島 (kagosima@sci.u-hyogo.ac.jp) までお願いします。

### ● 合同特集号オンラインアクセスに関するお知らせ ●

日本中性子科学会 編集委員長 岩瀬裕希  
合同特集号担当 編集委員 本田孝志

本合同特集号に限り、オンライン会誌において相互閲覧可能となっております。

日本中性子科学会の学会誌バックナンバーからアクセスをして頂き、下記のアカウントとパスワードで閲覧可能となります。

アカウント : jssrr291

パスワード : HamonJSR32

一年間有効となっております。

日本放射光学会及び日本中性子科学会会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止致します。また、記事の著作権は日本中性子科学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局 (sec@jsns.org) までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。